



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2010年4月号

「主題」・スローガン

- 国際会長 : 「一つとなる力」
 アジア地域会長 : 「一つとなる力」・「夢見るアジア、愛するアジア」
 西日本区理事 : 「すべてのいのちを大切に」・「いのち・平和・環境」
 中部部長 : 「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」
 プラザクラブ会長 : 「仲間と共にワイズを楽しもう」

【YMCAサービス・ASF=ASFの意義を再確認し、YMCAサービスを徹底しよう!】

4月例会・今後の予定ご案内

【4月第1例会（プラザワイズデー）】

日時：4月8日（木）・19：00-

場所：ケンポー

名古屋市中区東桜町 2-15-27 TEL. 052-931-0271

会費：ゲスト 4000円

【4月第2例会】

日時：4月22日（木）・18：45-

場所：名古屋YMCA会議室

出席者：役員（鈴木・榎田・高田）

（義務者）5月担当者（小澤・松永）

6月担当者（後藤・榎田）

【今後の予定】

1. 名古屋クラブ第1例会（お誘いがありました）

日時：5月11日（火）・19：00-20：30

場所：名古屋YMCA 3F会議室

費用：1000円（食事代）・先着80名

内容：卓話・久保田五十一氏（ミズノ・プロバットマイスター）

*久保田氏は美津濃に59年入社、65年頃よりバットの製作に携わり、矢沢、落合、イチローら多くの選手の信頼を集める。

2. 5月第1例会（南山・グランパスと合同例会）

月日：5月13日（木）時間・場所未定

3. 5月第2例会

日時：5月27日（木）・18：45-

場所：名古屋YMCA会議室

4. 第13回西日本区大会

月日：6月12日（土）～13日（日）

場所：広島国際会議場（大会会場）

横浜国際大会

月日：8月5日（木）-8日（日）

会場：パシフィコ横浜

◆インターネットをご利用の方は、上記西日本区中部ホームページの「名古屋プラザクラブ」を閲覧ください。

3月例会・その他行事の出欠表 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			算定
		1	2	M	
直前会長	大島 孝三郎	○	○	○	○
	小澤 幸男	○	○		○
書記	榎田 守隆	○	○	◎	○
	後藤 猛		○	○	○
	島崎 正剛	○	○	○	○
会長	鈴木 誉三	○	○	○	○
会計	高田 廣	○	○		○
	松永 裕子				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○	◎	○
ゲスト	大平 純市	○			
M=メモキップ	1. 中部評議会・講演会				
	2. チリ地震被災地支援 街頭募金				
				
				
				
				
出席率合計・(算定合計/会員数)%				88.9	
1. ニコボックス (円)		6500	15960		
2. オークション・切手		0	0		
ファンド・当月合計/累計		6500	15960		
ブリテンの寄稿順序は次の通りです。					
5月号・万福寺 6月号・松永 7月号・小澤					
8月号・鈴木 9月号・島崎 10月号・高田					
11月号・大島 (400字詰原稿用紙4-5枚程度)					
*Eメール・moritaka_kushida@ybb.ne.jp					

3月第1例会報告

日時：3月11日（木）・18:45-20:30

場所：名古屋YMCA会議室

1. ゲスト紹介・高田

現役時代に仕事仲間の「大平純市」さんです。現在はファイナンシャルプランナーなどのお仕事をしています。

2. 諸連絡

(1) チリ地震被災地支援街頭募金・鈴木

日時：3月27日（土）・中央教会前 14:00 集合
場所：栄三越周辺

(2) 西日本区大会参加予定者・鈴木

現在5人、更なる参加者をお願いします。

(3) 折り鶴・鈴木

1人当たり100羽を糸に通して4月末までに万福寺さんに提出する。

(4) 横浜国際大会・鈴木

現在大島さん1人のみ、参加者数伸びず。

(5) リーフレット・櫛田

万福寺さんにお手伝いいただき100部作成、1人当たり10部配布、会員の勧誘にご利用ください。

3. 評議会準備・鈴木

(1) 点鐘の鐘、万国旗などの備品は万福寺さんが揃え、3月20日鈴木さんが引き取り会場に持ち込む。

(2) 評議会・講演会の案内および会計報告書(35部)やマザー・テレサのプロフィール(100部)は万福寺さんがコピーのうえ当日持参のこと。

4. 4月第1例会・島崎

プラザワイズデー、飲み会とする。日時・場所未定。第2例会で決定する。

5. 南山との合同例会・鈴木

5月を予定する。

3月第2例会報告

日時：3月25日（木）・18:45-20:00

場所：名古屋YMCA会議室

1. 4月第1例会・鈴木（略）

2. 第1例会開催日変更・鈴木

毎月第2木曜日開催について、YMCAの変更要請および不都合なメンバーも居るため、この際変更したらどうか。4月第1例会で話し合う。

3. 5月第1例会（南山・グランパス合同例会）・鈴木（略）

4. 6月第1例会(POM)・鈴木

開催日を6月19-20日とするが、集合時間、場所は担当の後藤・櫛田に一任する。

5. 次期会長変更・島崎

次期予定の会長松永、副会長島崎を逆にする。鈴木さんは事務局に変更届を直ちに行うこと。

6. 部長を擁するクラブの最終行事・鈴木

(1) 部長・キャビネット・主査の引継ぎ式

(2) 部報発行

最後のご奉公をお願いいたします。

7. 0Bの斉藤さんからの手紙・鈴木

ブリテンはHPを利用しますので、「送付は無用」の内容とともに、ファンドにと献金をしてくださいました。ありがとうございました



(中部評議会・大島部長奮闘中です)



(森本監事「マザー・テレサの生涯」を熱く語る)



(三越前・声をからして道行く人に「お願いしまーす」)

講演会「マザー・テレサの生涯」

22 日名古屋中央教会のマナホールで評議会が終了後の2時より、元西日本区理事森本榮三氏の「マザー・テレサの生涯」と題する講演会が、一般の方を含め60人余の来場者を集めて開かれた。

1979年にノーベル平和賞を受賞されましたが、それまで「マザー・テレサさんってなんなん？」と全然知らなかった。平和賞といえば、日本の元佐藤総理大臣とかダライ・ラマ14世とかビルマのアウンサンスーチーさんとかは分かっていました。「そんな感じの人かなあ」と思っていました。「どんな事をやっている人だろう」ということは知りませんでした。ただ、ノーベル平和賞を貰われたときのテレビや新聞のニュースを見たり読んだりすると「わあ、このおばちゃん凄い人やなー」ぐらいのことは思っていました。

そんな森本さんが、1981年来日されたマザー・テレサとの不思議な出会いからカルカッタのマザー・ハウスをときどき訪れ、彼女やシスターたちと生活をともにした体験を淡々とお話をされた。

カルカッタに向かう汽車の中で「貧しい者を救え」と神の声を聞いた、という有名な逸話を「寝ぼけていたのでは？」と思ったり、貧しい家族に与えた僅かなお米の半分を隣に持っていった6人の子どもの母親に「どうして？」と尋ね「お隣は子どもが多いので」と言われて、仏教の「喜捨」はすべての宗教の共通テーマでは、と考えたりするごく普通のおやじの感覚でお話される。

ともすれば説教染みて1時間も耐えられないお話を興味深く傾聴出来たのは、マザー・ハウスの人たちと「肌に触れて」生の声そのままの言葉だからだろう。質疑応答も含めた有意義な2時間でした。

チリ地震被災地支援 街頭募金

2月27日に発生した地震により被害を受けた中部沿岸の人たちを助けようと、名古屋YMCAのスタッフ・会員・ワイズのメンバーら18人が、27日午後2時名古屋中央教会前に集まる。加藤総主事から被害の大きかったコンセプションの支援状況説明のあと、2組が三越の天津通側と久屋大通側に分かれ、道行く人々に笑顔で募金の協力を呼びかけた。

子どもにお金を渡して募金箱にお金を入れさせる情景はいつも通りほほえましい。2時間の活動を終えてYMCAで集計の結果21,845円集まりました。この浄財は日本YMCA同盟・チリYMCAを通じて被災者の方々の支援に使われます。

モナコとマグロとサイテス

テレビが「大西洋で獲れるクロマグロの国際取引が禁止されて、これからマグロが食べられなくなる」と騒いでいる。タイやヒラメがいるでしょうと、あまり関心はなく新聞の見出しを拾い読みする程度だったが、世界第2番目の小国、カジノとF1ラリーの国、高校生の時ファンだったグレース・ケリーが嫁いだモナコ公国の提案が奇異に感じられ、先月の収集日に出し忘れた古新聞を読み返してみた。

レーニエ3世とグレース・ケリーの子、元首のアルベール2世は環境活動家で地球温暖化の影響を調査するため北極や南極に訪れている。地中海沿岸の海洋資源にも詳しく、違法操業や乱獲によって個体数が急激に減少しているクロマグロの国際取引全面禁止をワシントン条約(注:1)の事務局に、「付属書I」の対象とする提案をした。彼は「グリーンピースなどの資源保護団体」とか「EUの回し者」などと言われているが、純粋な資源保護活動と思いたい。

3月19日付の各新聞は、一斉にモナコ案が大差で否決されたことを報じている。「よかった、本マグロが食べられる」と喜んでばかりはいられない。現状は、地中海諸国の巻き網漁業は蓄養業者と結び付き「違法漁獲は蓄養場に回っている」とICCAT(注:2)が報告しており、蓄養を「産卵後のクロマグロを捕獲、飼育してから出荷する事業。市場に水揚げされないため、正確な漁獲量データの収集に大きな影響を与える」と水産庁は警告する。巻き網漁で捕獲した密漁のクロマグロが蓄養業者に売られ生け簀の中で太らせて輸出、大西洋のクロマグロは蓄養も含め8割が日本で消費されている現状を妻小波・東京海洋大学教授は、「日本は資源保護に重い課題を背負った」と語っている。

20日付の中日新聞は、前日のクロマグロ禁輸案が否決されたことを受け、回転寿司チェーン関連株が上昇する一方、マグロ養殖用飼料を扱う企業の株が下げた、と伝えた。投資家の想像力には感心する。

スペイン、マルタ、トルコなど海外の蓄養マグロは、直径50メートルほどの生け簀で大量の添加物の入った固形飼料を食べさせて短期間に育てるが、狭い場所のため運動不足で脂肪が天然ものの3-4倍になる、いわゆる身が柔らかくてトロたっぷりの「美味しいマグロ」の誕生である。この「不正の温床」と言われている、蓄養マグロ生産、輸出のシステムを指導したのは日本の輸入業者である。あなたは、メタボなクロマグロをまだ食べますか？

注:1 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約(CITES(サイテス)・ワシントン条約)は、希少性に応じて

I からⅢまで分類されており、付属書 I は学術研究目的の取引以外、商業目的のための国際取引は全面的に禁止されている。ゾウ、トラ、クジラなどをリストに挙げている。

注:2 マグロ類の資源管理を目的に条約に基づいて海域ごとに設立された国際漁業管理機関の内、大西洋を適用水域とする「大西洋マグロ類保存委員会」の略称。他に、全米熱帯マグロ類委員会 (IATTC)、ミナミマグロ保存委員会 (CCSBT)、インド洋マグロ類委員会 (IOTC)、中西部太平洋マグロ委員会 (WCPFC) がある。
(櫛田 守隆)

聖書に由来する語句・慣用句・諺

【ありは力のない種類だが、その食糧を夏のうちにそなえる。(箴言 30. 25)】

【旧約聖書の箴言はイスラエルの王ソロモンが語った格言集といわれている。実際はソロモン王の格言のほか、エジプトやバビロニアの王や祭司、学者たちがことわざ、たとえ、寓話などで人生訓を後継者の王や王宮に従える者たちを教育するために考えた言葉も含まれている。編集が始まったのはバビロン捕囚(注:1)帰還からユダヤ戦争(注:2)締結後のヤムニヤ会議(注:3)まで続く。

表題の聖句「蟻の勤勉と周到さ」を説いたお話は、イソップ物語の「アリとキリギリス」を思い出す。元々は「蟻と蟬だったが、蟬は熱帯・亜熱帯に生息し、地中海沿岸を除くヨーロッパではあまり馴染みのない昆虫のため、ギリシャからアルプス以北に伝えられる翻訳過程で改編された。」「イソップ寓話は、ヘロドトス(注:4)の『歴史』によると、紀元前6世紀に奴隷のアイソーポス(イソップ)がつくった、とされているがすべてではなく、それ以前から伝えられていた、あるいは後世に創作された寓話や民話をもとにしたものも含まれている。(Wikipedia より)

イソップ物語が日本に伝えられたのは文禄2年(1593)、イエズス会の宣教師が天草のコレジオ(学校)で印刷されたローマ字版が最初である。その後江戸時代初期から『伊曾保物語』として各種出版された。天草本のアリとキリギリスは次の通りである。「蟬と蟻の事」・ある冬の半ばに蟻ども穴より五穀を出いて日にさらし、風に吹かするを蟬が来てこれを貰うた。蟻のいふは「御邊は過ぎた夏、秋はなにごとを営まれたぞ」。蟬のいふは「夏と秋のあひだは吟曲にとりまぎれて、すこしも暇を得なんだによつて何たる営みもせなんで」といふ。蟻「げにげにその分ぢや、夏秋謡ひあそばされたごとく、今も秘曲を盡くされてよからず」とて、さんざんに嘲り、少しの食を取らせて戻いた。散々嘲っても、蟻は蟬

(キリギリス)を助けているが、原典は「彼らはあざ笑いながら言った『なんと、収穫時に笛を吹くなら、冬に踊るがいい』」とキリギリスを助けなくて突き放している。

子どもたちに買い与え、現在は2人の孫がわが家に来る度に見ている、学研社の「子ども名作劇場全集」では「ありは、ごちそうをたべさせてからいきました。『なつのあついで、はたらいたおかげで、ふゆになっても、こうして、のんびりくらしていられるのです。きりぎりすさんも、うたなんかうたっていないで、わたしみたいにはたらけば、こんなことにはならなかったでしょうね。』」とキリギリスを諭して食事を与えている。

世界中のアリたちは働き者だが、そのアリが怠け者のセミやキリギリスに対する態度は宗教、国、時代により違っているようだ。】

注:1 紀元前597年および586年、新バビロニアがユダヤ王国を征服した際ユダヤ人をバビロンに強制移住させた。新バビロニアがペルシャに滅ぼされた紀元前537年、ユダヤ人たちは解放されて故国に戻る。

注:2 紀元66-70年、ローマ帝国の属国であったユダヤ地方で行われた独立戦争。

注:3 紀元90年代、ユダヤ教のラビ(神学者)たちによって正典(旧約聖書)を決定した会議。当時、キリスト教はユダヤ教の分派として意識されていたが、ギリシャ語訳の利用とヘブライ語に拘るユダヤ教が完全に分かれる会議でもある。

注:4 紀元前485-420年頃の古代ギリシャの歴史家。今日まともな形で残っている最初の歴史書『歴史』を著したことで『歴史の父』とも呼ばれる。

Zoom・レフト「ゼンペー」

子どものころ、町内にあった中日スタジアムの外野席は、七回表に入口を開放して出入りは自由だった。ラジオで中継を聞きながら頃合を計り、近所の悪童連と球場に駆けつけた。いつも見る西沢や杉山は身近な英雄だった。今年開幕の広島戦に負けた夜、中日が日本一になった昭和29年の打順を1番センター本多からピッチャー杉下まで指を折りながら記憶をたどる。当時好きだった選手の苗字がなかなか出てこない。9回の表、原田に代わりレフトに就くと外野席から「ゼンペー」の野次に照れながら、手を振る姿が可笑しかった守備固めの選手である。翌日の朝早く電話が鳴った。

「もしもし、山崎と申しますが、ご主人様ですか？ 有利なご投資のことでお話がございしますが」、「ん！・・・ヤマザキさん、ゼンペーさん、ですか」、「???」。